

事務事業名	老朽化し危険な空き家対策事業				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	24	終了	
H27担当課等名	地域計画課		H27係等名	建築指導係	H26係等名		建築指導係						
基本計画上の位置づけ	政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり										
	施策	83	計画的な空間利用の推進										
目的	対象(誰・何を)	老朽化し危険な空き家				対象指標	指標名及び単位			26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	所有者による適正な管理を行う					飯田市の空き家数(棟) (H25統計推計値)			5970			
	向上させたい上位施策の成果指標	地区の計画等が策定された地域数					危険な空き家数(棟)			105			
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	指導等に基づき除却・安全対策された空き家数(累計数)				9	12	15	18				
	成果指標	建物の適正管理がなされた空き家数(累計数)				3	7	10	12				
定性目標													
事業概要	<p>高齢化や人口減少等の要因により全国的に空き家数が増加傾向にあり、特に老朽化し危険な空き家については社会問題化してきている。市内においても市政懇談会、一般質問などで安全安心の観点より対策が求められてきていることから、老朽化し危険な空き家の状況について把握を行うと共に、地域の計画等に基づく魅力ある景観の形成や適正な土地利用の推進に向けて、所有者への対策依頼を行うことにより、対象となる建物の除却や土地を含めた適正管理の推進を図る。</p>												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	1 市内の廃屋について所有者への適正管理に向けた指導 2 空き家の状況把握のための調査					1 指導の実施 2 調査の実施			1 12件 2 1件				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		470	470	412	570								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		470	470	412	570								
人件費計(千円)②		2,575		2,754									
正規職員所要時間		720		770									
臨時職員所要時間		0											
総事業費①+②		3,045	470	3,166	570								
事業内容・目標達成状況の振り返り	老朽化し危険な空き家の把握を行うため、実態調査を行った。また、特に危険な空き家について所有者への指導を行った。総合的な空き家対策を進めるため、方針及び体制や条例等について庁内連絡会議で検討を行った。												
改革改善の考え方	①問題点	空家等対策の推進に関する特別措置法及び条例に基づく計画、措置等の詳細を検討する必要がある											
	②改革提案	ムトスマちづくり課と連携して協議を進める											